



**ココロノイロ** 三重県伊賀市四十九町 1278-20 ▲メールはこちらから  
電話:0595-46-0066 FAX:0595-54-6066 mail:kokoiro@n-kuseien.jp  
(※伊賀警察署を目指してお越しください。)

## 「18歳の壁\*」を越える多機能事業所へ ココロノイロ、四十九町で新たな一歩

ココロノイロはこの春、大山田地区(三重県伊賀市平田)から市街地の四十九(しじゅく)町へ移転し、4月1日より新体制でサービスを開始しました。放課後等デイサービスに加えて生活介護事業を展開し、最大8:00~18:30まで利用できる日中一時サービスも整備。小学生から成人までが「18歳の壁(\*裏面参照)」を越えて途切れなく支援できる多機能事業所として歩み始めています。



今まで自宅で過ごすことの多かったAさん。  
生活介護を利用する機会が増え、活動の幅が広がった。

これまで大山田地区で放課後等デイサービスを行ってききましたが、距離的に利用が難しい区域もありました。今回、市の中心部である四十九町へ移転したことで送迎範囲が広がり、より多くの方にサービスできる環境が整いました。また生活介護と日中一時サービスが加わったことで、小学生から成人まで途切れのない支援ができる体制となり、地域の多様な福祉ニーズに応えられる事業所になりました。

伊賀市街の玄関にあたる四十九駅を始め、四十九町は、市役所や病院、商業施設が集まる利便性の高い地域です。福祉関連施設も多く、地域に福祉への理解が根付いていることも特徴です。地元自治会からは「クリスマス会や町内清掃、防災訓練も一緒に取り組みましょう」と温かい声をかけていただき、地域の一員として迎え入れられていることを実感しています。

近隣には、里山の自然を体感できる上野森林公園を始め、身体を動かしたり、四季の移ろいを肌で感じる公園が点在しています。一方で周辺の利便性を活かし、買い物や公共交通の利用など、社会との接点を築くソーシャルスキルトレーニングにも適した環境が整っています。地域との交流機会も多く、小学生から成人まで社会参加の経験を積み重ねられる“学びの場”としての可能性が広がっています。



事業所にいるより毎日外に出て、  
田園風景の広がる公園でのびのび過ごす子どもたち。



行政機関や福祉事業所が集まると、他施設との連携や情報交換がしやすくなり、より幅広いサービス提供も期待できます。伊賀市では生活介護事業所がまだ十分とは言えない状況にありますが、名張育成会には複数の生活介護事業所があり、今回の移転により利用者が自分に合ったサービスを選べる選択肢が増えました。ココロノイロはその一端を担う存在として、これからも地域の福祉ニーズにしっかり応えてまいります。

(取材:広報委員会)

# 名張育成会の活動、ひとつずつ！

各施設の様子をお伝える「MiRAiレポートブログ」から  
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

生活介護(とも)

## 伊賀市役所での販売はじめました!(^^)!



パン工房あうるとCAFE & GALLERYほっぷでは、これまで地域の企業様に出向いて定期出張販売に取り組んできましたが、この4月から新たに伊賀市役所での出張販売を始めました。

場所は市役所1階障がい福祉課様の横の通路で、毎週月曜日の11時から13時まで販売しています(売り切れ次第閉店)。

パンがいっぱい!クッキーもいっぱい。今日も全部売れるといいなあ~(\*^^\*)  
どれもこれも美味しそう~。何を買おうか…迷いますよね!今日もたくさんのお客さんがきてくれて、めでたく完売で~す。これからもよろしくお祈りします。

高齢者グループホーム(ひかり)



## 密着!ひかりの1日(^^)/

ひかりでは、利用者の皆様がお自宅で過ごされていた頃のリズムを大切にしながら、思い思いの時間を過ごされています。必ずしも皆と同じ活動をする必要はなく、決まった時間に起きなければならないということもありません。それぞれのペースを尊重し、安心してリラックスできる環境づくりを心がけています。

日中は体操や歌、制作活動、身の回りのことなど、無理のない範囲で楽しめる活動を選んでいただき、夕食後はゆったりと就寝までの時間を過ごされます。ひかりでは、利用者様が「自分らしく、楽しく、ゆっくり」過ごせることを何より大切にしています。これからも、皆様にとって心地よい時間が流れる場所であり続けたいと願っています。

(表面より)

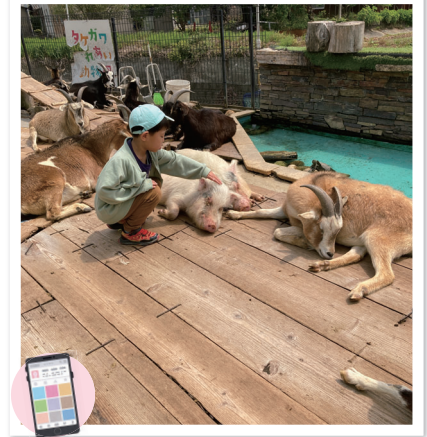
## 「18歳の壁」を越えていくために— 多機能化がもたらす安心

障害のある子どもは18歳になると、児童福祉法から障害者総合支援法へ制度が切り替わり、利用できるサービスや相談先が大きく変わります。これが「18歳の壁」と呼ばれ、学校卒業とも重なる時期に、日中活動の場探しや将来への不安が高まる要因となっています。特に生活介護事業所が少ない地域では、本人・家族の負担が大きくなりがちです。

こうした中、放課後等デイサービスに加えて生活介護を併設し、日中一時サービスも利用できるココロノイロの多機能化は、子ども期から成人期への移行を同じ環境で支えられる大きな強みとなります。環境の変化を最小限に抑えられることで安心感が生まれ、地域の生活介護不足を補う役割も果たします。名張育成会は、これからも途切れない支援の実現に取り組んでいきます。

〈ゆうら〉放課後等デイサービス

## 動物たちとのふれあい体験



タケガワふれあい動物園に行ってきました!色々な動物たちとたくさんふれあい、子どもたちは興味津々。最初は少しドキドキしていた子もやさしく触ったり近くで見たりするようになりました。なかなかの迫力です!

他にも小さな動物がいて、みんなそれぞれにふれあい体験を楽しみました。

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。



ブログ・Instagramは  
コチラ▲



Instagramでもご覧になれます。  
QRコードからチェック!

